



飯田城



のと鉄道旧能登線のトンネル直上あたりが主郭

所在地：石川県珠洲市飯田町
立地：丘陵頂部、標高49m
城主：飯田与三右衛門長家
時期：戦国
見学時間（参考）：1時間

若山川の右岸丘陵、通称「城山」に占地し、飯田湾沿岸を通る内浦街道と、奥能登山岳地帯を通る若山街道が交差する交通の要衝に位置する。西方の丘陵、春日山に中世において若山庄飯田郷の鎮守であった春日神社が鎮座し、摂関家九条氏が領有する荘園として古くから開けた土地であった。



尾根続きを遮断する堀切

飯田城の城主として飯田与三右衛門長家が伝わっている。天正5年（1577）3月、上杉謙信が飯田与三右衛門長家に珠洲郡小泊（小泊）、伏見、細谷（細屋）の地を与えた知行覚が残っている。謙信に従って奥能登へ従軍し、奥能登制圧とともに飯田城周辺の土地を与えられたと考えられる。

最高所の主郭に2段の方形の高まりがあり、古墳を再利用した櫓台であった可能性がある。城跡の見所は北側の尾根続きを遮断する大きな堀切と腰曲輪の畝状空堀群。畝状空堀群は上杉氏城郭で多用された防御施設で、奥能登では萩城、黒峰城（ともに珠洲市）にしか見られない。北側の尾根続きを進攻する敵兵は大きな堀切に遮断され、乗り越えても主郭の切岸に遮られて腰曲輪を東西に分かれて進むよう誘導される。畝状空堀群で進攻速度の鈍くなった敵兵は主郭からの横矢に晒される。



主郭

天正8年（1580）6月、長連龍・織田連合軍が菱脇の戦いで温井・三宅兄弟を破り、能登における織田勢力が確立すると上杉方は越後に退去し、飯田城は歴史に現われなくなる。



登城口



畝状空堀群

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>